



名古屋市立大学 SDGs活動レポート (2023年度版)



4 質の高い教育を
みんなに





大学案内・
教育情報の公
表

学部・大学
院

受験生の方
図書館・病
院・
附属施設

在学生・保護者の方
教育・学生生
活

卒業生の方
キャリア・就
職

企業の方
研究・産学官連
携・
社会貢献

一般の方・教職員志望の方
国際交流・留
学

ご支援をお考えの方
入試情
報

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > ESD概論での実践報告

全画面プリント 本文プリント

SDGs活動紹介

ESD概論での実践報告



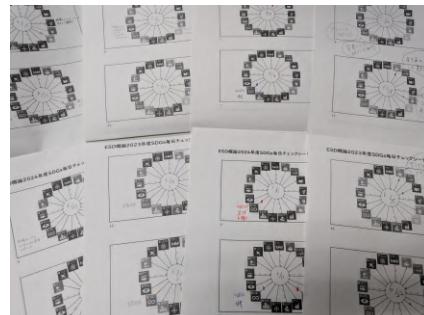
活動の概要

人文社会学部心理教育学科の曾我幸代准教授が担当している「ESD概論」では、受講している学生たちが事前にグループで考えた「持続可能なキャンパス案」の企画案を実際に行動に移すことを促す活動を行っていますが、2022年度からは、学生たちに個々人の生活レベルでの実践を求め、学生たち自身がSDGsのリテラシーを評価する取り組みも行っています。組織や集団だけではなく、個々人でも行動することの重要性が説かれているSDGs時代だからこそ、こうした取り組みの経験が必要となります。

学生個々人の生活チェックでは、4週間（28日）分のシートに、自らの生活がどれだけSDGs達成に貢献しているのかをゴールごとに記述し、0から3の4段階で評価してもらいます。視覚化することで、自身の行動をふり返ることができます。学生は、自ら記した4週間分のチェックシートを見直し、気づいたことや実践してみての感想を作文します。提出されたレポートからは、学生たちが普段の生活习惯に意識を向けていなかったこと、また、SDGsと自らの生活との関わりに気づかされたことなどを読み取ることができます。どこかの誰かの話だったSDGsが、自ら評価したチェックシートを通して自らの生活とリンクしていることに気づき、意識や行動の変容のきっかけとなっていることがわかります。また、行動すること、習慣づけることの大変さを実感することで、決してやさしいことではないことも学生たちは実感しています。

活動の時期

2022年度以降



学生が実際にチェックしたシート

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス
〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

滝子（山の畑）キャンパス
〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畠1

田辺通キャンパス
〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

北千種キャンパス
〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

医学部	医学研究科
看護学研究科	

交通アクセス キャンパスマップ

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

交通アクセス キャンパスマップ

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ



大学案内・
教育情報の公
表

学部・大学
院

受験生の方
図書館・病
院・
附属施設

在学生・保護者の方
教育・学生生
活

卒業生の方
キャリア・就
職

企業の方
研究・産学官連
携・
社会貢献

一般の方・教職員志望の方
国際交流・留
学

ご支援をお考えの方
入試情
報

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 課外プロジェクトを実施中！

全画面プリント 本文プリント

SDGs活動紹介

課外プロジェクトを実施中！



活動の概要

データサイエンス学部では、カリキュラムで履修する基礎科目、基盤・展開科目以外に、実際のデータを扱い行政、産業、学術など各界の現場における課題抽出や課題解決の体験を行う機会を提供することを目的にした「課外プロジェクト」を開始しました。第1回目は「Twitterデータを分析して名古屋市の人々がいつどんな幸せを感じているか」「地理情報空間データを用いた名市大生にお勧めの居住エリア探し」「企業とのワークショップ」などのプロジェクトに、延べ22名の学生が参加し、教員が提示した課題の解決を目指して、日々活動しています。

課外プロジェクトに参加している学生からは「1年生のうちから実際のデータを活用し、教員と近い距離で活動できる点がいい」との声があり、楽しんで活動している様子が伺えました。今後も第2回目、第3回目のプロジェクトが企画されており、社会の発展に貢献できるデータサイエンティストを養成していきます。

※本件は本学広報誌『創新』Vol.49（2023年9月発行）に掲載されました。

活動の時期

2023年4月から

関連URL

[本学広報誌『創新』Vol.49](#)

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

[交通アクセス](#) [キャンバスマップ](#)

滝子（山の畑）キャンパス

〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#) [キャンバスマップ](#)

田辺通キャンパス

〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

[交通アクセス](#) [キャンバスマップ](#)

北千種キャンパス

〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

[交通アクセス](#) [キャンバスマップ](#)

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 人文社会学部ESDの取り組みに関するFD研修（2023年度前期）の報告

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

人文社会学部ESDの取り組みに関するFD研修（2023年 度前期）の報告



活動の概要

人文社会学部において前期に実施したFD（Faculty Development：教員研修）では、新任教員の研修もかねて、ESD入門での学びの共有とともに、基礎科目で大切にしていることを確認する機会をもちました。

【日 時】

- (1) 2023年4月5日水曜日 午後4時30分から午後5時00分まで
- (2) 2023年6月6日火曜日 午後3時30分から午後5時00分まで

【場 所】

- (1) 1号館1階会議室
- (2) 1号館2階206教室（207教室、応接室）

【参 加 者】

- (1) 人文社会学部教員42名（参加率91%）
- (2) 人文社会学部教員41名（参加率89%）

【目 的】

- (1) ESD基礎科目を理解する
- (2) ESD入門での学びとESD基礎科目のねらいを理解する

【内 容】

- (1) 午後4時30分から午後4時40分まで ESD基礎科目の目的と枠組みの概説（曾我准教授）
午後4時40分から午後5時00分まで 顔合わせ（ESD基礎科目6科目ごと）
- (2) 午後3時30分から午後4時00分まで ESD入門での学びとESD基礎科目全体の概説
午後4時00分から午後4時45分まで ESD基礎科目の各班でのグループワーク
午後4時45分から午後5時00分まで 全体共有

前期FDでは、今年度の入学生のSDGs/ESDの学修状況およびESD基礎科目とは何かを改めて確認するための時間を持ちました。今年度の入学生のほとんどは、中学や高校でSDGsを扱って問題解決型の学習をしてきました。年々その数は増えてきており、数年後にはSDGsの基礎知識は既習済みで入学していくことが予想できます。一方で、ESDについての知識理解はほぼありません。こうした情報を共有しながら、履修する学生の学修状況の確認をまずは行いました。その上で、本学部が提供するESDの意義について説明しました。人文社会学部におけるESDは、「自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの『持続可能な生き方／あり方』を捉え直す教育」であり、その核となるESD基礎科目は、「諸問題／課題の現状を知り、持続可能な社会づくりに求められる考え方や価値観、知識、技法などを学べるようにすること」および「問題解決のプロセスに関わり、自信や希望の持てる場となるようにすること」をねらいにしています。ESD入門から始まるESD基礎科目は、履修生らが授業内で扱われるさまざまな事象に出会いながら、高校まで学んできたことを踏まえ、社会のなかにある「問題」とは何かを考え、自らの考え方やあり様をふり返る授業です。こうした共通認識を持つことが前期FDの目的です。

4月5日のFD研修では、上記についての確認をしたうえで、各科目に分かれて、新メンバーとの顔合わせを行い、どのような授業をしているのかを共有しました。6月6日のFD研修では、1年生全員が必修で履修するESD入門（担当教員：曾我准教授）でどのような学びをしているのかを概説しながら、ESDを通してどのような力や資質を身につけてほしいのか、SDGsを通して何を捉えていくことを望んでいるのかについても共有されました。その後の質疑応答では、ESD入門と6科目とのつながり、および専門科目とのつながりをそれぞれの教員が意識していくことの重要性およびグループワークをする際の配慮事項について確認がなされました。また、6月6日の研修では各科目に分かれて、グループワークを行いました。グループワークでは全15回の授業の流れの確認やこれまでの実践をふり返り課題の共有をしました。グループワークを終えて、各科目からどのようなことが話し合われたのかを全体で共有しました。各授業で扱っている内容の紹介をはじめとして、今年度の授業で意識していきたいことなどが報告されました。

<p>以下は、グループワークを通して出された内容の一部です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内のグループワークのメンバーが固定されないように、席を指定して、なるべく多くの学生間で交流ができるようにしていきたい なぜ当該授業を履修しているのかという目的が見えなくなっている学生がいるので、改めて授業の意図について説明していく必要がある ESDは実践の中で学ぶことが大事なので、ESD基礎科目だけにおさまらず、ほかの機会—学外研修や学生の諸活動の支援—の提供を学生にもっと周知していきたい <p>毎年、前期のFDでは、ESD基礎科目的授業の流れの確認および課題の共有を行っています。各教員が授業方法や授業内容をふり返り、教員間でそれを共有することで、よりよい授業実践のあり方を考える機会となっています。</p>	
活動の時期	2023年4月、6月
担当教員	曾我幸代：人間文化研究科（心理教育学科）、准教授、（専門分野）ESD



スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

交通アクセス

キャンバスマップ

滝子(山の畑)キャンバス

〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畠1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

交通アクセス

キャンバスマップ

田辺通キャンパス

〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
-----	-------

交通アクセス

キャンバスマップ

北千種キャンパス

〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
-------	---------

交通アクセス

キャンバスマップ

大学案内・
教育情報の公
表学部・大学
院

受験生の方

在学生・保護者の方

卒業生の方

企業の方

一般の方・教職員志望の方

ご支援をお考えの方

図書館・病
院・
附属施設教育・学生生
活キャリア・就
職研究・産学官連
携・
社会貢献国際交流・留
学入試情
報

SDGs活動紹介

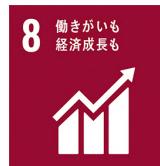
ホーム > SDGs活動紹介 > 岐阜県白川町・名古屋市立大学経済学部・株式会社コミュニティネットワークセンター共同企画・実施「共同講座」1年目報告

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

岐阜県白川町・名古屋市立大学経済学部・株式会社コミュニティネットワークセンター共同企画・実施「共同講座」1年目報告

4 質の高い教育を
みんなに8 働きがいも
経済成長も9 産業と技術革新の
基盤をつくろう11 住み続けられる
まちづくりを17 パートナーシップで
目標を達成しよう

活動の概要	2023年3月3日に岐阜県白川町と名古屋市立大学経済学部（以下「名市大」）と株式会社中部コミュニティネットワークセンター（以下「CNCiJ」）は、社会課題の解決や学生や社員等の育成・能力開発等を目的に連携協定を締結しました。 共同講座は、地域課題の解決を目指して、グループワークによる対策案の検討と企画提案を行う「事業構想編」と、提案内容の検証と新たな地域資源の発見を組み合わせて展開する「フィールドワーク編」で構成されます。 2023年4月から9月にかけて学生・若手社員・若手職員が「メディアの活用」「移住促進・観光ブランド化」「高齢者世帯・独居老人を見守る体制づくり」「地域産業の活性化・再生」のテーマで対策立案と、町長・社長・町民の方々への提案を行いました。フィールドワークでは、対策の実行性を高めるための検証とSNSを通じて岐阜県白川町の魅力発信に努めました。
活動の時期	2023年度
関連URL	本学広報誌『創新』Vol.50

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

交通アクセス

キャンバスマップ

滝子（山の畑）キャンバス

〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

田辺通キャンパス

〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

交通アクセス

キャンバスマップ

北千種キャンパス

〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

交通アクセス

キャンバスマップ



SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『木曽三川における地域環境教育のあり方』の刊行

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

人文社会学部現代社会学科・社会調査実習報告書『木曽三川における地域環境教育のあり方』の刊行



活動の概要

人文社会学部現代社会学科では、毎年、社会調査実習という授業を開講しています。各担当教員の指導のもと、中京圏の様々な社会問題の現状と課題について、主にフィールドワークやインタビュー調査を中心とした社会調査を行っています。東海社会学会インターラッジ発表会で報告をしており、調査経験とプレゼンテーションに力を入れた教育活動を行っています。この度、報告書『木曽三川における地域環境教育のあり方』を刊行しました。

【社会調査実習の内容】

今年度の馬渡班では木曽三川における地域環境教育の現状について、地域資料の整理・読解、現地フィールドワークや関係者への聞き取り、ボランティア活動への参加等を通して調べました。水環境と私たちの関係は切っても切り離せないものであるにもかかわらず、実際には水環境とどのように付き合っていけば良いかわからない現状があります。特に学校外の社会教育の現場で、どのような内容の環境教育が行われているのか、その実態や伝え方、教育の工夫、各団体の抱える課題等を調査しました。調査に協力いただいた各務原木曽川かわまちづくり会は、産官学民が連携したかわまちづくりの実現を目指している団体です。同会は、近隣の国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センターの専門家と協力して、小学生とその保護者（親子）を対象とした「おさかな観察会」などのイベントを定期的に開催しています。子どもたちはイベントにおいて、専門家の助けも借りながら生き物に関する正しい知識を身につけることができます。しかし、単なる知識の習得に終わることなく、五感を通じて直接自然を感じることができます。このような取り組みを通して、「地域の自然環境への愛着がわき、環境保全に関心を持てるようになる」「地元の良さを認識することによって、将来のUターン就職率を高める」「Uターンの際には「地元の良さ」を発信する立場を担えるようになる」「専門家との連携によって、研究等の将来の進路選択にもつながる」ことを目指しています。また、同会が開催する「かわまちランバイク大会」へのボランティア参加を通して、水辺空間の利用によって地域が盛り上がる様子を目の当たりにし、受講者は「まちとかわのつながり」を感じることができました。このような地元住民が担う「かわまちづくり」の活動は、子どもたちに対する地域環境教育の一環として位置づけられるでしょう。

活動の時期

2023年4月から2024年4月まで

担当教員

馬渡玲欧（人文社会学部現代社会学科講師／SDGsセンター員）

関連URL

[名古屋市立大学人文社会学部現代社会学科](#)

[東海社会学会インターラッジ発表会](#)

[人間文化研究科の馬渡玲欧講師のインタビュー記事がWebメディア『ミズテル』に掲載されました](#)

木曽三川における 地域環境教育のあり方

[2023年度・現代社会学科社会調査実習報告書]

第4分冊

名古屋市立大学人文社会学部
現代社会学科

2023年度社会調査実習報告書（馬渡班）表紙

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	

交通アクセス

キャンバスマップ

滝子（山の畑）キャンパス

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畠1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

交通アクセス

キャンバスマップ

田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

交通アクセス

キャンバスマップ



大学案内・
教育情報の公
表

学部・大学
院

図書館・病
院・
附属施設

教育・学生生
活

キャリア・就
職

研究・産学官連
携・
社会貢献

国際交流・留
学

入試情
報

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 令和5年度 大学丸ごと研究室体験を開催しました

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

令和5年度 大学丸ごと研究室体験を開催しました

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



活動の概要	<p>2023年7月24日から8月25日にかけて、名古屋市教育委員会との高大連携事業の一環として「大学丸ごと研究室体験」を実施しました。</p> <p>この企画は、本学医学部・薬学部・総合生命理学部の研究室において、名古屋市立高校生が最先端の研究に触れ、高校までに学ぶ科学が社会にどう関わっているかを知り、科学に対する興味・関心を深めていただくために大学での実験活動の体験を提供するものです。実際に各研究室で専門分野の実験を体験できる、全国的にも珍しい取り組みです。</p> <p>今年は31講座を開講し、140名を超える名古屋市立高校生の参加がありました。参加した高校生からは「先生や学生と一緒に実験を進めるなかで、最新の研究を詳しくしことができた」、「将来の進路を考える参考になった」との声をいただきました。</p>
開催時期	2023年7月24日から8月25日
関連URL	本学広報誌『創進』Vol.50

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種2-1-10

医学部	医学研究科
看護学研究科	

交通アクセス

キャンバスマップ

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

交通アクセス

キャンバスマップ

田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

交通アクセス

キャンバスマップ

大学案内・
教育情報の公
表

学部・大学
院

受験生の方
図書館・病
院・
附属施設

在学生・保護者の方
教育・学生生
活

卒業生の方
キャリア・就
職

企業の方
研究・産学官連
携・
社会貢献

一般の方・教職員志望の方
国際交流・留
学

ご支援をお考えの方
入試情
報

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 最先端研究を体験するイベント ひらめき☆ときめきサイエンスを開催しました

全画面プリント 本文プリント

SDGs活動紹介

最先端研究を体験するイベント ひらめき☆ときめきサイエンスを開催しました



活動の概要	<p>「ひらめき☆ときめきサイエンス」は、最先端の研究成果を子どもたちに発信し、大学ではどのような研究をしているのか、研究者や教員はどういうことを考えているのかなど、さまざまな実験を通して、科学の楽しさ・不思議さに触れてもらい、豊かな心と知的創造性を育てるプログラムです。</p> <p>2023年8月22日（火曜日）に「病気から体をまもる研究を丸ごと体験してみよう」と題し、高校生約20名に向けて本プログラムを開催しました。どのように病気が進行するかを模擬講義や実験を通じて学び、実験終了後、参加した高校生たちは実験結果を発表し、質疑応答、フリーディスカッション後、参加者全員に「未来博士号」が授与されました。</p> <p>※本件は本学広報誌『創新』Vol.49（2023年9月発行）に掲載されました。</p>
活動の時期	2023年8月
関連URL	本学広報誌『創新』Vol.49 開催報告（社会貢献）

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス
〒467-8601
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

滝子（山の畑）キャンパス
〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畠1

田辺通キャンパス
〒467-8603
名古屋市瑞穂区田辺通3-1

北千種キャンパス
〒464-0083
名古屋市千種区北千種2-1-10

医学部	医学研究科
看護学研究科	
交通アクセス	キャンバスマップ

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ



大学案内・
教育情報の公
表

学部・大学
院

受験生の方
図書館・病
院・
附属施設

在学生・保護者の方
教育・学生生
活

卒業生の方
キャリア・就
職

企業の方
研究・産学官連
携・
社会貢献

一般の方・教職員志望の方

ご支援をお考えの方
国際交流・留
学

入試情
報

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > 「SDGs AICHI EXPO」に人文社会学部 曽我准教授ゼミの学生が出演

全画面プリント

本文プリント

SDGs活動紹介

「SDGs AICHI EXPO」に人文社会学部 曽我准教授ゼミ の学生が出演



活動の概要	2023年10月5日（木曜日）から7日（土曜日）に開催された「SDGs AICHI EXPO2023」（SDGs AICHI EXPO実行委員会主催）に人文社会学部心理教育学科の曾我ゼミ生が出演し、SDGsにつながる行動を考えるワークショップで来場者との交流を楽しみました。 来場者のみなさんに「絵地図」（©日本国際理解教育学会）にあるSDGsにつながる状況を読み取り、それに対して「自分に何ができるのか」を考え、付箋紙に記入していただきました。98名の方がこのワークに参加してくださいました。ありがとうございました！ こうした学外のイベントに参加することで、地域の方々とお話しする機会をいただけたので、学生たちにも多くの学びがあります。少しでも多くの方がSDGs達成につながる行動について考え、実行に移してくれることを願っています。またの機会を楽しみに。
	以下に、参加者からの声をいくつか紹介します。 <ul style="list-style-type: none"> ・節電 ・水筒を使う ・生きものとのふれあい・楽しさを紹介します ・買った物を捨てず、全部消費する ・カメをいじめない ・とにかく戦争を止めたら、自然も資源も人も生きものも守れると思う ・無駄遣いを無くす ・車を使う機会を減らし、電車を良く利用するようにしています ・みつろうラップを使う ・残さず食べる ・もったいないマインド ・新聞を有効活用する ・割り引き食品（消費期限の近いもの）を積極的に買うようにしています！ ・カメを助ける！ ・残業0！！ ・魚釣りの際にゴミを拾って帰る ・地球温暖化で雪がとけているからCO₂を出さないように生活する ・ゴミをポイ捨てしない ・募金をする ・地産地消
活動の時期	2023年10月
関連URL	○SDGs IDEA FORUM 2022で最優秀賞を受賞した学生にイベント参加いただきました。 SDGs IDEA FORUM 2022で本学学生が最優秀賞、特別賞を受賞！



2023年10月5日 来場者との交流の様子（人文社会学部の学生が制作したSDGs探検ノートと薬学部の学生の研究成果の紹介も実施されました）



2023年10月5日 記念撮影(SDGsセンター林センター長、人文社会学部学生、曾我准教授)

SDGs活動紹介

ホーム > SDGs活動紹介 > NCUサステナビリティ・ワークショップ2023を開催

全画面プリント 本文プリント

SDGs活動紹介

NCUサステナビリティ・ワークショップ2023を開催



4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

活動の概要

2023年11月4日（土曜日）にNCUサステナビリティ・シンポジウム2023「住から考える持続可能な都市 名古屋」（名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我幸代研究室主催、名古屋市・名古屋市教育委員会・名古屋市立大学SDGsセンター後援）を開催しました。住というと、住宅や建築、まちづくりという印象を受けるかもしれません、それには経済や社会システム、自然のバイオアズームが深く関わっています。住は、私たちの生活そのものです。これまでにテーマに掲げた食や防災は、SDGsのゴールにもある貧困や飢餓、健康、エネルギー、気候変動、生物多様性にも深く関わっていました。住も同様に、複合的かつ分野横断的なテーマであり、それはSDGsを包括的に捉え、各ゴールやターゲットにあげられていない状況にも目を向けさせます。「住」をどの切り口からみるのかによって、その現れ方は異なり、またそれは文化による差異にもつながります。

そこで、今回はさまざまなことに関連する「住」を通して、自らの暮らしや営みをふり返り、どのような持続不可能な状況を生み出しているのか、またいかに持続可能なあり方にシフトできるのかを考える機会をしたいと思いました。これまでの開発がこうした差異に目を向けて一様に繰り返されてきたのだとすれば、私たちの住環境に現れる多様性は失われていきます。私たちがどのような社会を求め、どのような開発のあり方を望むのかを考え、それを実行に移していく必要があることを改めて共有することの大切さを再確認できる機会となりました。それは、SDGs未来都市という看板を掲げる名古屋という都市社会において、社会的公正や環境保全に配慮した開発のあり様を考え、参加者全員で自らの足元から考える契機とも言えるかもしれません。

そこで本ワークショップでは住とSDGsを掛け合わせ、不確実性の高い時代に生きる私たちにとってすべきこととは何かを考えました。子ども・若者の視点から、何が問題で、それらにどのように取り組むことが求められるのかを考え、発表しました。その上で、SDGsのアイコンを街中でよく見掛けるようになった昨今のSDGs未来都市としての名古屋のあり様を考え、参加者全員で自らの足元から考えました。

開催日時・場所

2023年11月4日（土曜日）午後1時30分から午後3時30分まで
名古屋市立大学ampusキャンパス1号館2階201教室他

スケジュール

午後1時30分から午後1時40分まで 開会の挨拶・趣旨説明
午後1時40分から午後1時45分まで ワークショップの説明・各会場へ移動
午後1時45分から午後2時40分まで 高校生・大学生協働ワークショップ
午後2時40分から午後3時20分まで 全体会
午後3時20分から午後3時30分まで 閉会の挨拶 (SDGsセンター長 薬学研究科教授 林秀敏)

参加校・ゼミ

高校生：名古屋市立北高等学校
名古屋市立名東高等学校
名古屋経済大学市邨高等学校
大学生：名古屋市立大学看護学部地域保健看護学ゼミ
名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科曾我ゼミ

参加者の声

【高校生】自分は防災についての学びを発表したが、他のテーマに関することだととも、全部の共通点としてコミュニティの繋がりが挙げられて、うまくコミュニティ資源の活動をすることで、コミュニティの繋がりが強くなると感じました。また、他のグループの意見を聞いて、コミュニティの繋がりが強まっていく中でうまれる価値観の違いがあるが、それは合わせる必要がなく、互いに尊重していくのが良いと思いました。

【高校生】他校の子が何を学んでいるのか、どんな活動をしているのかを知る良い機会になった。「人とのつながり・関わり」をテーマにしているグループが多くあったが、こういうワークショップに参加し、校外でのコミュニティを作ることも大切だと思った。
 ・価値観は違うから、様々な価値観にふれ合ってみる。
 ・オンラインイベントばかり参加したり企画したりしているので、オフラインのイベントを企画して地域での交流を作るのは楽しそう。
 ・私は人、地球は人中心ではない（もっと視点を広げて考えないかん）。

【高校生】自分の高校だけでも他の子の意見や感想に対して“発見”や“気付き”があったけど、他の高校や年の違う人達の違う視点からの意見や考えを聞いて新しい発見がたくさんありました。普段の高校生活では、同じ学校同士での意見交換の場はたくさんあるけど、違う学校の人達と話をしたりする機会はあまりないので、楽しかったです。

【高校生】今回、他の学生が半年～一年間かけてやったこと、学んだことを聞いて、例えば、“防災”や“看護”、“食”など問題点を見た時に、それができるために、“人と人で協力”しないとできないことに気づき、人をもっと大事にしようと思いました。もっと子どもや高齢者を大切にしていくような町づくりをしたいです。

【高校生】「住」というテーマになると、その結論もバラバラになると思っていた。けれど、皆たどりつくところは同じで、その過程はグループごとに様々だった。自分と同じ考え方や違う考え方もあり、とても興味深かった。

【大学生】「人とのつながり」を問題点としているグループが多く、誰もが問題意識をもっている一方で、つながりが希薄化している現状があり、行動に結びつけることが難しい問題なのだろうかと思いました。

【大学生】所属する学部や学科によって、同じ住であってもその見方は様々であり、非常に興味深かったです。防災や食、地域環境やその土地に住む人々など、住には様々な要素が存在しているが、その根底にいるのは、その地域に暮らす人々であり、人々がつながって、協力し、コミュニティを築きあげることで、これらの問題にアプローチ、解決していくのだということを学んだ。とても良い経験をすることができました。

【大学生】色々な学校の方の学びが聞けて良かったです。改めて自分の周りの住環境についてや、将来的環境について考え、持続可能性、この先も住み続けていくことが出来る住を考えるきっかけになりました。今後も色々な人が自分のこととして、住環境を考えていくことが出来ると良いコミュニティになっていくのかなと思いました。

【大学生】発表を聞いたり、話し合いをしたりして、人とのつながりとそれをつくるためのイベントが大切だと感じました。今の社会は「個」を尊重していて、それが影響して人とのつながりがうすれていると分かりました。挨拶など気軽にできることからはじめて、サロンや町内のお祭り、ワークショップなどのイベントへの参加につながると分かりました。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し関わりえることが大切で、みんなが楽しめることも重要だと強く感じました。

【大学生】高校生たちの取り組みや課題意識を聞いて、大学生である自分も本当に勉強になりました。人間中心の暮らしではなく、“地球中心”的視点による暮らしづくりの必要性を強く感じました。

[サスティナビリティワークショップ（チラシ）（PDF ファイル 1.74MB）](#)



グループ発表の様子



グループワークの様子



参加した高校生と大学生の集合写真

スマートフォン表示

PC表示

桜山（川澄）キャンパス

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

滝子（山の畑）キャンパス

〒467-8501

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畠1

田辺通キャンパス

〒467-8603

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

北千種キャンパス

〒464-0083

名古屋市千種区北千種2-1-10

医学部	医学研究科
看護学研究科	

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンパスマップ

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#)

[キャンパスマップ](#)

SDGs活動紹介

[ホーム](#) > [SDGs活動紹介](#) > [人文社会学部心理教育学科ESD演習（スタディツアーア）の報告](#)
[全画面プリント](#)
[本文プリント](#)
[SDGs活動紹介](#)

人文社会学部心理教育学科ESD演習（スタディツアーア） の報告



活動の概要	<p>ESD演習（スタディツアーア）では、他者との共同生活を通して、他者性や協働性、異文化理解について考え、持続可能な開発とは何かを改めて捉え直し、自らのあり方を考えることを目的としています。参加学生はESDに関する既修の授業で、持続可能な開発とは何か、何をすべきかを考え、実践することに挑戦してきました。その経験を活かし、ESD演習では国内とは異なる諸状況下において、自らの暮らしや生き方をふり返りながら、持続可能な開発について改めて考えます。</p> <p>実施日時：2024年2月27日から3月8日（11日間） 訪問先：フィリピン レイテ島 参加学生：人文社会学部心理教育学科 4年生1名、3年生2名 担当教員：人間文化研究科 曾我幸代 准教授</p>
活動の時期	2024年2月、3月
関連URL	https://www.nagoya-cu.ac.jp/human/04/202404031525/

[スマートフォン表示](#)
[PC表示](#)

桜山（川澄）キャンパス

 〒467-8601
 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

医学部	医学研究科
看護学研究科	
交通アクセス	キャンバスマップ

滝子（山の畑）キャンバス

 〒467-8501
 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

経済学部	経済学研究科
人文社会学部	人間文化研究科
総合生命理学部	理学研究科
データサイエンス学部	データサイエンス研究科

[交通アクセス](#) [キャンバスマップ](#)

田辺通キャンバス

 〒467-8603
 名古屋市瑞穂区田辺通3-1

薬学部	薬学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ

北千種キャンバス

 〒464-0083
 名古屋市千種区北千種2-1-10

芸術工学部	芸術工学研究科
交通アクセス	キャンバスマップ